



池田けい子 (公明党)

急増する「コロナうつ」いのちと心を守るための対策強化を！

- 問 女性や若年層の自殺者数が増えている。利用しやすい、SNS等を活用した相談窓口の設置を要望する。
- 答 電話や対面に抵抗、躊躇する人や状況的に厳しいケースがあることは認識している。具体的に検討する。
- 問 高齢者の社会的孤立・孤独を防ぐための対策を伺う。
- 答 コロナ禍の中、閉じこもりによるうつ状態や認知症、体力の低下が懸念される。通いの場の提供や、関係者と協働し元気を支える仕組みを展開していく。
- 問 市民の悩みやストレスなど、心の状況についての調査の実施と、訪問型支援を重視することを、次期「多摩市自殺対策推進計画」に反映することを要望する。
- 答 改訂時にはアンケートの実施等を考えていく。
- 問 ゲートキーパーの質の向上や人材育成のため、知識や初期対応を学ぶ市民向けプログラム、「メンタルヘルス・ファーストエイド」の活用を提案する。
- 答 具体的な行動手順として有効だと認識している。どのように取り入れられるか、今後検討していく。



遠藤ちひろ (新政会)

1. 女性活躍並びに、本市女性職員のキャリアについて
2. 聖蹟桜ヶ丘のタワーマンションの衝撃

- 問 多摩市議会における女性割合は4割前後だが、民間企業や市役所の女性管理職は1-2割程度と少ない。女性活躍を阻む原因をどう分析しているか。
- 答 女性が活躍するためには、ロールモデルになる先輩女性職員に光を当てたり、男性の育休を推進するなどの取り組みが必要と考える。
- 問 学生時代はリーダーになる女性が多いのに、社会に出ると補助的役割になる女性が多い。残業の多さや自分に自信を持つ機会が少ないことが問題とされている。私は女性にとって働きやすい社会は、男性にとっても居心地の良い社会だと思うが、令和3年度の取組みを伺う。
- 答 ご指摘の通り男女ともに残業の減少に向けた取組みや、女性職員へのキャリア形成支援など進めていきたい。



斎藤せいや (飛翔)

市長施政方針について

- 問 令和3年度から試行的に3つの小学校で公営・民営の屋内プールを利用した水泳の授業を行うことが計画されている。施設までの移動を考えると授業時間の確保が心配されるが教育委員会の見解を伺う。
- 答 移動時間を含めて1回で2コマの連続した授業を行う場合でも90分の授業時間が確保できるようにする。
- 問 市内の全小学校で屋内プールでの授業を実施することになると学校から施設までの距離によっては授業時間に差が生じることも考えられるが、この点に関してどのように考えているか伺う。
- 答 学校から距離がある場合にはバスを手配することを考えていく。また、学校によって授業時間の差が出ないように配慮していく。
- 問 全校実施となったとき、現在あるプール自体についてはどのように考えているかを伺う。
- 答 現状では白紙ではあるが、他の自治体の例なども参考にして効果的な利活用ができるように検討していく。



板橋 茂 (日本共産党)

1. 介護保険制度21年目を迎え介護の危機。多摩市の介護は守れるか
2. 子育て・若者世代に魅力ある街を

- 問 コロナ禍で多摩市の介護現場の状況を伺う。
- 答 具体的な感染対策に基づき各介護サービス事業者が必要な備えを行い継続的にサービスが提供されている。
- 問 今回の改定でも保険料の値上げが提案されているが、値上げを止めるには何が必要か。
- 答 国の負担割合を引き上げることなどを求めていく。
- 問 介護保険制度で国・都への働きかけの内容を伺う。
- 答 全国市長会として国へは財政運営や低所得者対策について積極的な措置を講じることを求めている。都にも国への働きかけとともに都独自の施策展開を求めている。
- 問 親子や中高生が気軽に集える施設として、全児童館を日曜に開館することを求めるがいかがか。
- 答 現在は一ノ宮・永山・唐木田児童館の3館で日曜開館を行っているが、全ては考えていない。
- 問 オリンピック種目になったスケートボードなどができるスポーツ公園が必要ではないか。
- 答 安全や騒音等を配慮した上で検討すべきと考える。



稲城市北緑地公園内のスケートパーク